



発行：さいとう歯科

〒272-0137

千葉県市川市福栄3-18-22

Tel : (047)399-8217

Fax : (047)399-8217

HP : <http://www.saito-dent.com>

東の七五三、西の十三参り

「十三参り」は、旧暦の3月13日に数え年13歳になった男女が、虚空蔵菩薩(こくぞうぼさつ)に参詣し、福德・智慧(ちえ)を祈願し、厄祓いする行事です。

数え年の13歳の理由は、生まれた干支が初めて巡ってくる歳で、男子は元服、女子は最初の厄年を迎えるためと言われています。また、虚空蔵菩薩に参詣する由縁は、弘法大師空海が室戸岬の「御厨人窟(みくろど)」に籠もって「虚空蔵求聞持法(こくぞうぐもんじほう)」を修行し、一度聞いたことを忘れない能力を得たことや、日蓮が12歳で仏道を志し、虚空蔵菩薩に21日間の祈願を行ったことに因みます。虚空蔵菩薩は、無限の智慧と慈悲を持ち、常に人にそれらを与えて願いを満たす菩薩です。日本では、三大虚空蔵と呼ばれる寺院があり、円蔵寺(福島県柳津町)・村松山虚空蔵堂(茨城県東海村)・金剛證寺(三重県伊勢市)・法輪寺(京都府京都市)・弘仁寺(奈良県奈良市)などの何れかが組み合わされています。

『今昔(こんじゃく)物語』には、学問をおろそかにする僧が、法輪寺に参詣する話があります。僧侶は虚空蔵菩薩が化身した美しい後家に好意を寄せ、後家の言うがままに学問をするようになり、見事に大成したとのこと(巻17-33)。『枕草子』にも「寺は…壺坂・笠置・法輪」とあり、『中右記』にも藤原宗忠がたびたび法輪寺で学識向上を祈祷したと記されています。

このように、関西では法輪寺が最も有名な十三参りの寺院です。法輪寺では、3月から5月と10月から11月を十三参り参詣期間としています。御祈祷受付の際、半紙に漢字一文字を数え13歳の祈願者が自ら毛筆でしたため納めます。御札・お守り・供物・箸を授与され、帰り道は、振り返ると折角授かった智慧を返さなければならぬとの伝承により渡月橋は「何があっても、絶対、振り返ったらあかん」とされています。



立ち寄った今宮神社の「あぶり餅」一和のおばちゃんのお弁「昔は七五三はのうて、十三参りだけどしたなあ」

難波より 十三まわり 十三里 もらひにのほる 智慧もさまざま(わらべうた)

栃木県立なす風土記の丘資料館 館長 篠原祐一

歯周病は完治しない！ Part1



ちょっとショッキングなタイトルから始めます。

何と、2001年のギネスブックには、『地球規模で最もまん延している病気は歯周病である。地球上を見渡してもこの病気に冒されていない人間は数えるほどしかない』とまで表現されています。

しかも日本は他の先進国と比べてむし歯と歯周病が多いのです。ですから日本の歯科医療はもっと国民のためになるよう、アクションを起こす必要があります。21世紀になり、歯周病の病因論(病気の原因のことです)は、大きな進歩を遂げました。今回はその一端を少々お話します。

<歯石は歯周病の原因ではない>

1955年頃まで、歯周病の原因は「歯石」と思われてきました。歯周病が悪化して抜けた多くの歯には歯石が付いていたからです。そして1970年代までの歯垢(デンタル・プラーク)が原因とされた時代を経て、歯周病菌の存在が明らかになりました。さらに、21世紀になり、歯周病菌の詳細に関する研究は格段に進化しました。「歯周病になった結果として歯石が付いている」という表現になります。でも、歯石は、歯ぐきの状態が良くなるのを邪魔しますから、除去が必要なのは今も昔も変わりません。

<なぜ完治しない？>

歯周病菌は、歯のまわりに棲みつきます。そして人間には免疫が備わっています。やがて人間の免疫と歯周病菌とのシビアな戦いが(自覚症状を起こさずに歯のまわりの組織で)始まります。困ったことにこの戦いには終わりがありません。さらに免疫力が強い方ほど、戦場(歯周組織のことです)が荒廃します。

では、いつ戦いが終わるのか？それは、歯が無くなる時です。歯が無ければ歯周組織は存在しない。これは、歯周病菌の足場が無くなることを意味しています。ですから、歯がある、つまり足場がある限り！この戦いを鎮静化し続ける必要があります。

<定期管理>

そこで出てくるのがメンテナンスなどの定期管理です。終りの無い戦いを休戦状態にするのです。



その後は鎮静化のうえで、改善した歯周組織の維持に努めていくことになります。

次回は、歯周病菌について、また、歯周病治療の目標などに焦点を当てます。

参考文献:ビジュアル 歯周病を科学する
天野敦雄/岡賢二/村上伸也監修
クインテッセンス出版株式会社 2012